

2023 年度以降の授業実施方法等について（第 3 報：5 月 8 日～）

在学生、ご家族の皆様へ

東京理科大学 学長

2023 年 3 月 20 日付で、本学における [2023 年度以降の授業実施方法（第 2 報：4 月 1 日～5 月 7 日）](#) についてお知らせしましたが、5 月 8 日から法令上の位置づけが変更されることに伴い、本学における対応を検討した結果「新型コロナウイルスへの対応方針」を廃止することとなりました。

なお、以下の「2023 年度以降の授業実施方法」は変更することなく、今後も継続して適用することとしましたのでお知らせします。

東京理科大学における授業実施の基本方針

授業実施にあたっては、**対面で実施することを基本**とし、各授業における目的、到達目標、内容、方法等を考慮し、対面授業(すべての回を対面)、ハイフレックス型授業、ブレンド型授業、オンライン授業（同期・非同期）等、**効果的・効率的な方法で実施することを可能**とする。

授業の実施形態について

本学では授業の実施形態を以下のとおり定義しています。

1. 対面授業

教室で対面により行う授業

2. オンライン授業

同期遠隔又は非同期遠隔により、オンライン上で行う授業。

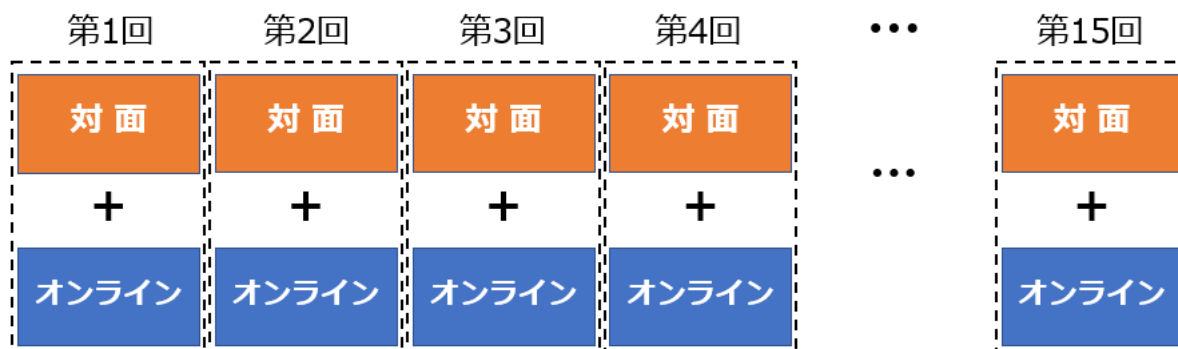
3. ハイフレックス型※授業

一つの授業を対面とオンライン（同期遠隔）で同時に行う形式。

教員は対面で授業を行い、学生は自身の状況に応じて対面授業を受講するか同期遠隔型のオンライン授業を受講するか選ぶことができる。

※ハイフレックス：Hybrid-Flexible

(イメージ)

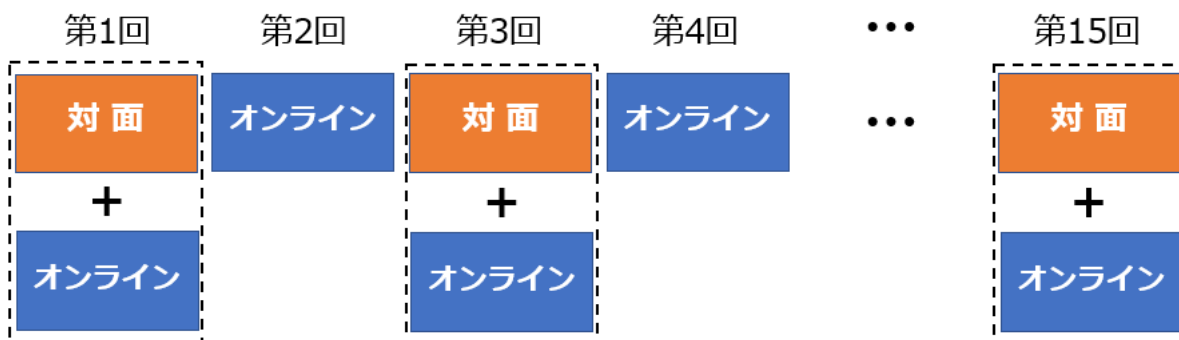


4. ブレンド型授業

授業の目的・教育効果等にあわせて授業ごとに対面とオンラインを組み合わせる形式。

15回の授業のうち初回や対面が望ましい回等は対面で行い、それ以外はオンラインで行う。

(イメージ)



※上記イメージでは対面実施の回をハイフレックス型授業としているが、履修者全員が対面授業に参加しても差し支えない。